

『森ノ宮鍼灸セミナー“臨活”』講座開催のお知らせ

第6回【東洋医学的診察法「脈診」「腹診」】

東洋医学を基礎とした診察には、望診・聞診・問診・切診という四診法があります。臨床では、四診をしっかりと行うことで、疾病の本質が理解でき鍼灸治療に繋げることができます。今回は、菊谷先生に脈診法と腹診法について講演していただきます。



前半は、「脈診法」についての講義で、脈象の形成は、臓腑や気血と密接な関係があるので、臓腑や気血の病があれば、脈の運行に影響が現れます。脈診を習得すれば疾病の部位や性質、治療の有効性などの推測が可能となります。

後半は、「腹診法」についての講義で、患者の腹部を触診することにより、異常が起こっている部位や臓腑を判定することができます。

講師：菊谷敏士先生

臨床において脈診法と腹診法を併せて行うことで弁証に重要な根拠を得ることができます。この機会に、これら診断法を実技を通し習得してください。

《 開催概要 》

実施日：平成31年1月14日（祝・月）

場 所：森ノ宮医療学園専門学校本校舎 実技：102実技室

時 間：13時00分～16時10分

参加費：在校生 無 料 卒業生 1,000円 一般 3,000円
（参加費は、受講当日、受付にてお支払いください。）

定 員：先着30名

申 込：hironaka@morinomiya.ac.jp に、メールにてお申込ください。
在校生の方は、学年・コースとお名前を、卒業生の方は卒業年度・コースとお名前を明記して送信してください。

締 切：第6回講座の受講申し込みは **定員に満たし次第** 終了いたします。

その他：申込み完了時には、こちらより受付完了メールを送信させていただきます。
hironaka@morinomiya.ac.jp からメール受信できるように設定しておいてください。

ご質問等は、鍼灸学科教員 弘中昌博 までお問い合わせください。